

## 26 教職に関する専門教育科目 小学校 問題用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

1 次の1・2に答えなさい。

1 次の(1)～(3)は、教育基本法、地方公務員法及び教育公務員特例法の条文の全部又は一部です。(A)～(D)にあてはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

(1) 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

2 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び(A)の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

4 生命を尊び、自然を大切にし、(B)に寄与する態度を養うこと。(教育基本法第2条)

(2) 職員は、その職務を遂行するに当つて、法令、条例、地方公共団体の規則及び地方公共団体の機関の定める規程に従い、且つ、上司の(C)に忠実に従わなければならない。(地方公務員法第32条)

(3) この法律は、教育を通じて国民全体に(D)する教育公務員の職務とその責任の特殊性に基づき、教育公務員の任免、給与、分限、懲戒、服務及び研修等について規定する。(教育公務員特例法第1条)

2 学校教育法第11条では、児童・生徒等の懲戒に関する規定が設けられています。この規定はどのような内容ですか。簡潔に書きなさい。

2 平成20年3月告示の小学校学習指導要領・中学校学習指導要領及び平成21年3月告示の高等学校学習指導要領・特別支援学校学習指導要領は、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視することとしています。知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを図るためには、どのような学習活動を行う必要がありますか。簡潔に書きなさい。

3 特別支援教育に関して、次の1・2に答えなさい。

1 平成17年12月8日に中央教育審議会から出された「特別支援教育を推進するための制度の在り方について」の答申において、特別支援教育の理念と基本的な考え方が示されています。この答申で示された特別支援教育とは、どのような教育ですか。簡潔に書きなさい。

2 特別支援教育を実施するため、各学校において行う必要がある体制の整備及び取組について示した、次のア～エの文の中から正しいものを1つ選び、その記号を書きなさい。

ア 校長は、関係諸機関・学校との連絡・調整、保護者からの相談窓口などの役割を担う特別支援教育コーディネーターを外部の専門家の中から指名し、校務分掌に明確に位置付けること。

イ 障害のある児童生徒に対して、医療、福祉、労働等の様々な側面からの取組を含めた個別の教育支援計画を策定するなど、関係機関と連携を図った効果的な支援を進めること。

ウ 特別支援学級が設置されていない学校は、校内に特別支援教育に関する委員会を設置しなくてもよい。

エ 特別支援学級が設置されているすべての学校は、地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮すること。

## 26 教職に関する専門教育科目 小学校 問題用紙

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

4 児童虐待に関して、次の1・2に答えなさい。

1 児童の人権を著しく侵害し、心身の成長及び人格の形成に重大な影響を与える児童虐待には、大きく分けて、4種類あります。この4種類とは、それぞれどのようなものですか。簡潔に書きなさい。

2 学校の教職員は、職務上、児童虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、虐待を受けた児童を発見した場合又は虐待の疑いがある場合には、速やかに通告することが児童虐待の防止等に関する法律で義務付けられています。児童虐待に係る通告について示した、次のア～エの文の中から正しいものを2つ選び、その記号を書きなさい。

ア 教職員には守秘義務があるため、保護者の同意を得てから通告しなければならない。

イ 児童相談所の他に、市町村、都道府県の設置する福祉事務所に通告することもできる。

ウ 虐待の疑いがある場合は、虐待の事実を確認してから通告しなければならない。

エ 通告する際は、児童委員（民生委員）に仲介してもらってもよい。

5 いじめは、集団の中で行われ、一般的に4つの立場によって構成されています。それぞれどのような立場ですか。簡潔に書きなさい。

6 外国語活動に関して、次の1・2に答えなさい。

1 次の文は、平成20年3月告示の小学校学習指導要領 外国語活動 内容 の一部を示したものです。文中の( A )～( C )にあてはまる言葉を、下のア～ウの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

[第5学年及び第6学年]

2 日本と外国の言語や文化について、体験的に理解を深めることができるよう、次の事項について指導する。

(1) 外国語の( A )やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の( B )や豊かさに気付くこと。

(2) 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様な( C )があることに気付くこと。

(3) 異なる文化をもつ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深めること。

( A ) ア 文字

イ 音声

ウ 文構造

( B ) ア 難しさ

イ 必要性

ウ 面白さ

( C ) ア ものの見方や考え方

イ 交流や連携

ウ 学習活動や学習形態

2 次の文は、平成20年3月告示の小学校学習指導要領 外国語活動 指導計画の作成と内容の取扱い の一部を示したものです。文中の( A )・( B )にあてはまる語をそれぞれ書きなさい。

(1) 2学年間を通じ指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。

ア 外国語でのコミュニケーションを体験させる際には、児童の( A )の段階を考慮した表現を用い、児童にとって身近なコミュニケーションの( B )を設定すること。

7 教師が行う学習評価は、学校における教育活動に関し、児童生徒の学習状況を評価するものです。こうした学習評価は、教師や学校、児童生徒にとって、それぞれどのような意義がありますか。200字以上300字以内で書きなさい。

26

教職に関する専門教育科目 小学校 解答用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1

1 (A) \_\_\_\_\_ (B) \_\_\_\_\_ (C) \_\_\_\_\_ (D) \_\_\_\_\_

2

2

3

1

2

